



8歳から4年間、脳腫瘍と闘い、12年の短い生涯を終えた本田紘輝。闘病生活の中で数々の絵画作品を残しました。圧倒的な迫力で観る人の心を揺さぶる作品は、国内の絵画展、CGアート展などで数々の賞に輝きました。今回の作品展では、生きている証を刻み込むようにひと筆ひと筆力強く描かれた作品、また、家族や友だちを想う子供らしいわんぱくな視点で表現された作品や手紙など、約60点を展示いたします。辛い抗がん剤治療の中、『負ケテタマルカ!!』の一心中で描き続けた命の記録を、是非ご高覧ください。



「いのち」2006



「負ケテタマルカ!!」
2005



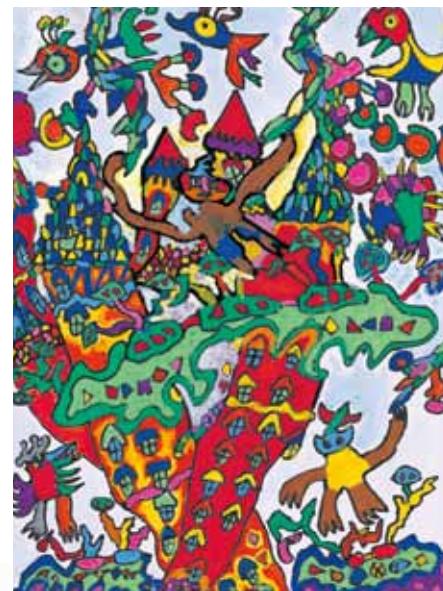
「やくそく」
アナコンダ
2005



「りいひんたアアアアろおおおお」2007



「ママとぼくと信作と」
2006



「DIDA あまみの太陽」2006

ほん だ こ う き 本田 紘輝 作品展 **負ケテタマルカ!!** 画用紙に描いた命の記録

ごあいさつ ~本田紘輝の両親からみなさまへ~

この度、本田紘輝の作品展『負ケテタマルカ!!』を秋田市で開催する運びとなりました。4年間にわたり、闘病生活の中で描いた作品の数々を、一堂に展示する機会を頂けたことに心より感謝いたします。息子は最後に「ごめんね」ではなく、「愛してる」と言って旅立ちました。

想いを人に伝える事で人と人との絆はとても強くなり、さらにお互い思い合える関係になると、たくさんの困難も乗り越えられる…。「一人じゃなく見守ってくれる人がいると幸せになれるんだよ」と息子が教えてくれました。

私たち家族が生きている『今』は、息子が堪えきれないほど痛みや恐怖と戦い、生きたいと願って求め続けた『明日』です。だからこそ、『今』を大切に、息子を感じ続けていかなければと思っています。

「子供の夢を守る事がしたい」…そう言っていた息子の夢を叶えたい。自慢の息子が残してくれた『作品(こころ)』に触れることで、何かを感じてくださり、心の片隅に紘輝を息づかせて貰う事は幸いです。

最後まで生きる事を諦めず、魂を込めて描いた数々の作品が、お子様からご年配の方まで、たくさんの方々に命の尊さや生きる事のすばらしさを伝えてくれるものと信じています。

本田 信作・奈穂美



「大切な人『ママ』」2005

本田紘輝 略歴

| | |
|-----------------|--|
| 1995年 | 8月21日 鹿児島市に誕生 |
| 2002年 | 小学校入学 |
| 2004年 | 院内学級に転入 |
| 5月 | 鹿児島市立病院に脳腫瘍のため入院、手術 抗がん剤治療 10クール 放射線治療3ヶ月 |
| 2005年 | 末梢血管幹細胞移植 |
| 12月 | 退院 |
| | ●「大切な人(ママ)」 第6回マルチアートデザインコンテスト グランプリ |
| | ●「僕の願いがかなうかなーはるかなる島の物語ー」 第49回西日本読書感想画コンクール 特選 |
| | ●「負ケテタマルカ！」 CG画 |
| | 鹿児島CGコンテスト Drink'05 グランプリ |
| | ●「うみ」第52回二科ジュニア展 入賞 |
| 2006年 11月 | 再発 入院 抗がん剤治療 |
| | ●「オレンジたんけんたい」 第7回マルチアートデザインコンテスト ノンデジタルアート部門 優秀賞 |
| | ●「青い島」 NHK鹿児島新会館落成記念 かごしま未来予想図 かごしま未来予想図賞 |
| | ●「海の物語(いのち)」 鹿児島CGコンテスト Drink'06 グランプリ 第8回KTSアートマーケットにて作品展示 (霧島アートの森) |
| 2007年 | 鹿児島市立病院退院 自宅療養 |
| 12月28日 | 永眠 |
| 2008年～ 2013年 | 鹿児島、北海道、沖縄、福岡、熊本、神戸、青森など にて作品展を開催 |

【会場】

秋田拠点センターアルヴェ 2階多目的ホール

〒010-0002 秋田市東通町4-1

アルヴェ・秋田市民交流プラザ管理室 TEL018(887)5310 FAX018(887)5311
【開館時間】午前10時～午後6時(入館午後5時まで) <http://www.alve.jp/>

【アクセス】JR秋田駅直結 徒歩3分。

秋田自動車道秋田中央I.C.より車で5分

【駐車場】320台

